

戦争法案NO! アベ政治を許さない!



「アベ政治を許さない」全国一斉行動に参加

澤地久枝さんの呼びかけに応え、7月18日午後1時ポスター「アベ政治を許さない」を掲げ50人がりんご広場でアピールしました。

戦争法案NO!大集会に参加

7月18日弘前りんご広場で行われた集会・パレードに参加。250人の方が集まりました。

環境厚生委員会で質問 (7/21)

●周産期(妊娠22週から生後7日) 医療システムの成果と課題について

医療薬務課長答弁「平成16年から総合母子周産期医療センター(県立中央病院)、地域周産期母子医療センター(国立病院機構弘前病院など)、後期周産期医療施設(弘前大学付属病院)地域周産期医療協力施設(津軽総合病院など)の連携役割分担体制が構築し、周産期死亡率は約半分に。今後産科医、小児科医の育成と定着が課題」

●弘前市の2次救急輪番体制への支援を

医療薬務課長答弁「平成19年度から5病院体制で運用されてきたが、1病院が抜きたいと伝わってきている。県と市町村がそれぞれの役割に応じて取り組むことが必要。県は3次救急医療の確保やコンビニ受診に向けた住民への啓発に取り組んでいる。医師確保について各病院の努力が必要、県は総数確保に努力」

●東通原発事故における5000人武道館受け入れ試算はまず

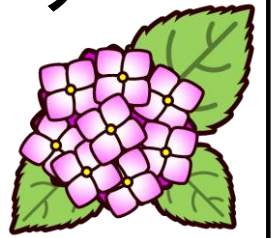
原子力安全対策課長答弁「授乳室・更衣室・居住スペースの通路部分を設定すれば収容人数が減る」

●ごみの減量・リサイクルの推進を

環境政策課長答弁「県民一人あたりのごみ排出量1,069gを越えている県内市町村は4市5町村あり、弘前市は1,310gとなっている。県のリサイクル率は13.7%で、これを弘前市を含め5市14町村が下回っている。八戸市のごみ排出量は1,018gリサイクル率14.8%となっており事業系紙ごみの搬入規制を行っているのが効果を示している。」

●ニホンジカ対策について

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの
新・アジサイだより



九条を
守って進む
日本丸
(はるみのワクワク川柳)

～はるみの活動日誌～

- ☆弘前地域研究所開所式 (7/10)
- ☆白神体感自然歩道オープニングセレモニー (7/17)
- ☆りんご植栽140周年記念事業 (7/28)
- ☆農業委員大会 (7/30)
- ☆ねふた出陣式 (8/1) (右写真)
- ☆憲法9条つがる女性の会アピール行動 (8/4) (下写真)



地域要求実る

清原4丁目用水路にふた設置

清原3丁目ロードミラー設置



■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。 ■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。7月の相談対応6件。

7月30日までに行動と集金を終え、31日はこの夜から1日にかけて帰省する3人の息子家族の寝る場所確保のために、1年半も手つかずになっていた場所の整理整頓に追われました。嬉しかったのはこの日から休みを取ってくれていたUターン組の次男が、布団干しや掃除をせよとやってくれたことでした。

そして、いよいよ息子夫婦3組と5人の孫たちがやってきました。今回は夫を励ます意味も込めて、私たち夫婦の「結婚40周年記念の会」に招待しました。1日の昼予約したお店で料理をいただきながら、楽しいひと時を過ごしました。



生になった孫のそら。「それでは、始めの言葉を史郎おじさんと咲人くんお願いします。」つぎは青森じいじから挨拶をお願いします。「という具合です。中間にはクイズコーナーがありみんな笑い転げました。長男扮する着ぐるみプーさんも登場しちびっこたちも大はしゃぎ。そしてサプライズは6歳の誕生日を迎える幸樹へのプレゼントとケーキ登場。最後に私たちに孫から一輪ずつヒマワリの花とみんなからの花束、そして40年ものワインがプレゼントされました。夜は家族みんながねふた鑑賞。ばあばのねふたの先導グループの声援もしてもらいました。忙しかったけど5人の孫たちと4人の息子夫婦に囲まれ幸せなひと時でした。

ほっとタイム
「結婚40周年」

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
10:00~15:00 (土・日・祝日休み 留守電対応)

自宅0172-35-2270

Eメール ando-harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/

6月のホームページアクセス数
35,190件 (1日平均1,135件)